

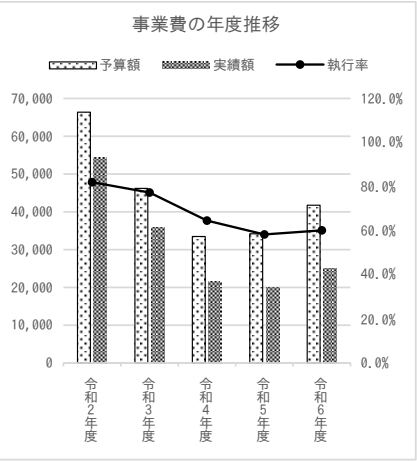
令和7年度 杉並区施策評価シート I

施策	04	地域の魅力あふれる多心型まちづくり
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	市街地整備課	関係課

施策目標	○荻窪駅周辺において、歴史・文化等の潜在能力を十分生かし、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進んでいます。 ○各地域の特色や魅力を生かしたまちづくりが進み、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたくなるまちになっています。 ○区民等による主体的なまちづくり活動が活発に行われることにより、住宅都市としての魅力や価値が更に高まっています。
------	--

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	荻窪駅周辺都市再生事業に関する懇談会・意見交換会等の開催数	まちづくりニュース等の発行回数及びまちづくり周知イベントの開催数の合計	回	計画		5	4	3	
				実績	13	4	4	-	
				達成率	-	80.0%	100.0%	-	
	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	ワークショップやオープンハウス等の開催数	回	計画	5	5	5	13	
				実績	6	10	8	-	
				達成率	120.0%	200.0%	160.0%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	普段利用する駅周辺の満足度	区民意向調査による	%	計画	73.3	73.6	74	74.3	令和12年度
				実績	72.4	72.3	70.3	-	76%
				達成率	98.8%	98.2%	95.0%	-	
	分類	利用者満足度指標							
	自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合	区民意向調査による	%	計画	79.6	79.8	80	80.3	令和12年度
				実績	78.6	78.1	82.1	-	82%
				達成率	98.7%	97.9%	102.6%	-	
	分類	利用者満足度指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	66,374	46,208	33,479	34,191	41,753	28,493
			実績額	54,436	35,736	21,629	19,939	25,125	-
			執行率	82.0%	77.3%	64.6%	58.3%	60.2%	-
	人件費	千円	予算額	100,460	101,300	105,709	104,734	75,569	107,926
			実績額	102,603	103,622	115,630	107,797	100,459	-
			執行率	102.1%	102.3%	109.4%	102.9%	132.9%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	166,834	147,508	139,188	138,925	117,322	136,419
			実績額	157,039	139,358	137,259	127,736	125,584	-
			執行率	94.1%	94.5%	98.6%	91.9%	107.0%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	0	1,000	2,600	0
			実績額	0	0	1,500	600	2,100	-
			執行率	-	-	-	60.0%	80.8%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-11.6%	-5.6%	-0.2%	-15.6%	16.3%
			実績額		-11.3%	-1.5%	-6.9%	-1.7%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	60.2%	68.7%	75.9%	75.4%	64.4%	79.1%
			実績額	65.3%	74.4%	84.2%	84.4%	80.0%	-



特記事項	＜前年度事業費から10%以上増となった主な理由＞荻外荘公園開園に合わせ、荻窪駅周辺の回遊性向上のために観光案内板及び路面案内サインの整備工事を発注/荻窪のまち歩きイベントを業務委託（新規）/杉並区阿佐ヶ谷駅北東地区公民連携まちづくりの取組方針策定等に関する支援業務委託（新規）/あさがやまちづくりセッション開催に伴う進行管理等業務委託（新規）/蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画道路の拡幅用地買収2件等＜予算執行率が90%未満となった主な理由＞観光案内板及び路面案内サインの設置で設計委託費及び工事落札の差金が発生/公民連携まちづくり取組方針策定等支援業務委託を単年度で計画していたものが、2箇年に渡るように変更/まちづくり活動助成の申込みがあった団体数が計画より少なかった等＜活動指標の見直し＞「懇談会・意見交換会等の開催数」が2項目あったため、1つにまとめ、新たに「普及啓発活動等の回数」を追加
------	---

施策の成果		<p>荻窪駅周辺では、荻外荘公園開園に合わせて、荻窪駅南側や荻窪三庭園に荻窪駅周辺の観光案内板を設置するとともに、荻窪駅から荻窪三庭園等までの道路に路面ステッカー等の案内サインの整備を行い、地域の回遊性の向上を図りました。また、SNSを活用したフォトラリーを開催し、まちの魅力発信を行いました。さらに、駅からバスのりばに至るシームレスな案内・誘導のため、鉄道事業者による荻窪駅構内図やエレベーター周りの案内サインの整備に協力し、利便性向上を図りました。</p> <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、新たな対話の場として「あさがやまちづくりセッション」を開催し、参加者のまちづくりへの興味・関心を高める契機を作りました。阿佐ヶ谷駅北東地区では、公民連携まちづくりとして、阿佐谷北東エリアまちづくり協議会（エリアプラットフォーム）が発足し、本地区の将来像、防災やみどり、にぎわい創出等に関する基本方針や取組内容等についてまとめる「未来ビジョン」の骨子案を作成しました。中杉通り沿道では、安全・快適な歩行者・自転車空間の改善を図るため、パーキングメーターの利用実態調査を行うとともに、駐車場を整備した場合のパーキングメーター撤去可能範囲について検討を行いました。</p> <p>富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、令和5年度策定の「富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針」に関するオープンハウスを開催し、まちの将来像や目標、取組等について周知し、意見を伺いました。</p> <p>地区計画区域内では、建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することで、良好な住環境の形成を誘導しました。</p> <p>まちづくり活動助成やコンサルタント派遣を利用した団体からは、イベントの開催や冊子の作成、他団体や中高生との共同活動による多世代交流など、地域での活動の幅を広げることができたとの報告があり、区民等主体のまちづくり活動が実施されています。</p>
課題の分析		<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するためには、区民等による主体的なまちづくりへの機運を醸成する必要があります。</p> <p>区内最大の交通結末点である荻窪駅周辺では、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えており、区が住宅都市としての価値を更に高めていくためには、その潜在能力を十分に生かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進する必要があります。</p> <p>各地域の課題解決や住環境維持のため、住民発意によるまちづくりの取組の増加が今後も予想されます。地区計画などの各種まちづくり制度や公民連携まちづくりの取組、エリアマネジメントの仕組みなどを活用し、地域の特性を踏まえつつ、まちづくりの課題解決や魅力向上を図る必要があります。</p> <p>まちづくり団体の活動を区民に広く周知し、活動を継続的なものにするためには、区による効果的な広報やまちづくり活動への支援のあり方に課題があると考えています。今後は、区もまちづくり団体と積極的に意見交換等を行いながら、まちづくり団体への活動支援と効果的な支援制度のあり方について検討し、より充実した住民主体のまちづくり活動となるよう支援していく必要があります。</p>
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	現状維持
	今後の進め方	<p>各地域において、地域の魅力あふれる多心型まちづくりに取り組みます。</p> <p>荻窪駅周辺まちづくりでは、駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、駅周辺の都市機能の充実などを図るため、区民・事業者等と協力しながら都市再生事業を推進します。</p> <p>阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性を区民・事業者・行政が共有し、協働して役割を果たす公民連携まちづくりを基本とし、エリアマネジメントの取組の具体化や体制づくりを進め、持続可能で魅力あるまちの実現を目指します。</p> <p>富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、課題となっている富士見丘通りの更なる安全対策などについて、引き続き丁寧に地域の意見を聴取しながら、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の実現に向け、個別具体の取組を進めます。</p> <p>まちづくりの施策では、地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。</p> <p>まちづくり活動の支援では、まちづくり団体との意見交換等を行い、まちづくり助成を含めた効果的な支援制度のあり方について検討していきます。また、区ホームページ等でのまちづくり団体の活動紹介や区が運営する地域団体情報サイト、地域共創型ポータルサイトの活用などを通じて、事業者・団体間の協働によるまちづくり活動を支援していきます。</p>

令和7年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 地域の魅力あふれる多心型まちづくり】 ※金額の単位は千円							
	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和6年度事業費	人件費	総事業費 施策から見た事業の方向性
1	339	地区整備計画	○		6,304	30,374	36,678 現状維持
2	342	まちづくり活動の支援	○		897	4,889	5,786 現状維持
3	345	都市再生事業	○	○	9,742	37,475	47,217 現状維持
4	346	駅周辺まちづくりの推進	○	○	8,182	27,721	35,903 現状維持
5		以下再掲事業の評価表					
6	347	都市計画道路周辺まちづくり					
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
合計					25,125	100,459	125,584
施策を構成する事務事業に関する特記事項		都市再生事業について、中長期的には「現状維持」としていますが、令和8年度は、令和7年度に策定予定の「（仮称）荻窪駅周辺サイン整備計画【第2期】」に基づき、案内サインを整備するため、事業コストの方向性は「拡充」としています。 駅周辺まちづくりの推進について、中長期的には「現状維持」としていますが、令和8年度は、「あさがやまちづくりセッション」の開催頻度を令和7年度よりも縮小することや、阿佐ヶ谷駅北東地区公民連携まちづくりについて、公民連携での活動主体の発足により区からの業務委託は行わないことから、事業コストの方向性は「縮小」としています。					